

令和7年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	25009														
講習名	知っておきたい！港湾の役割－物流、利用、環境、防災－														
講習活用区分	☐	自主研修			☐	中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）									
	☐	兵庫県15年研・20年研等、神戸市アドバンス教員研修													
実施日時	令和7年8月8日（金）9:00～17:00										振替対応	無			
募集人数	20人			最小開講人数	15人										
実施形態・会場	対面型														
	神戸築港資料館ピアしっくす					教室			未定						
対象校種	☐	保育士		☐	幼稚園教諭		☐	小学校教諭							
	☐	中学校教諭		教科指定：無					☐	高等学校教諭		教科指定：無			
	☐	特別支援学校教諭		養護教諭				栄養教諭		その他対象：					
対象職位	☐	若手		☐	中堅		☐	ベテラン		☐	学校管理職			トップリーダー	
担当講師	講師1		氏名：安田 誠宏				所属：		関西大学						
	講師2		氏名：中西 敬				所属：		徳島大学						
	講師3		氏名：平田 喜久男				所属：		国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所						
	講師4		氏名：栞原 陸人				所属：		神戸市港湾局						
到達目標	小中高の理科・社会に関する内容を中心に、港湾の様々な役割・機能に関する理解を深め、生徒の学習を促進するための知識や経験を得ることを目的とする。														
講習目的・内容	輸出入貨物のほぼ全てを取り扱う港湾の物流機能は、経済活動と国民生活を支える上で極めて重要である。港湾の背後には人口・資産が集積しているため、高潮、津波災害から人命・財産を防護する役割も重要である。一方、クルーズ船やフェリー、ウォーターフロントの憩いの場としての利用もされている。温暖化を緩和するためのブルーカーボンも期待されている。本講習では、物流、利用、環境、防災についての港湾の役割について学ぶ。 ☐ 探究活動を含む☐ 省察を含む														
講習計画	【時間】				【内容】										
	9:00		～	9:10		オリエンテーション									
	9:10		～	10:10		講義1『防災：高潮・津波、地震・液状化、気候変動』高潮災害（2018年台風21号）、地球温暖化の影響、津波災害（東北、能登、南海トラフ）、地震による液状化被害（阪神淡路、能登）について説明します。									
	10:20		～	11:00		講義2『利用：港湾のにぎわい創出』ウォーターフロントエリアにおける取り組みを紹介することで、港湾に親しみ・興味を持ってもらいます。									
	11:10		～	12:00		講義3『物流：海上物流と暮らし、コンテナ物流の課題と施策』コンテナ物流と基幹航路、経済・生活との関係、国際コンテナ戦略港湾、CyberPort、AIターミナル等の港湾整備について紹介します。									
	12:45		～	13:35		講義4『環境：大阪湾の環境、ブルーカーボンと兵庫運河干潟』大阪湾の環境診断を健康診断になぞらえて説明します。地球温暖化とブルーカーボンについて説明します。									
	13:55		～	15:25		見学（A神戸港、B兵庫運河）				【荒天により船が出航できない場合】 見学（兵庫運河・神戸国際コンテナターミナル）					
	15:25		～	16:55		見学（B神戸港、A兵庫運河）									
	16:55		～	17:00		アンケート									
受講者の方へ	・会場の空調につきまして、当日の気温等に応じて調整しておりますが、会場によっては、どうしても吹き出し口とその他の場所で温度差が出てしまいます。講習当日は体温調節をしやすい服装でお越しください。 ・見学を実施しますので、動きやすい服装・靴（船舶の乗り降りを安全に行うため、干潟に降りるため、ヒールの高い靴、サンダルはご遠慮ください）で受講してください。 ・船、バスに乗りますので、乗り物酔いをする方は酔い止め薬を服用する等、ご準備願います。 ・警報発令に関係なく、大雨、強風等により中止する場合があります。中止する場合は、実施当日、兵庫教育大学のホームページにてお知らせいたします。														
その他	・本講習は土木学会関西支部と連携して実施します。 ・本講習は地域センター事業の一環として無償で行います。														